

平成 29 年 11 月 10 日

家具やテレビの転倒に気を付けましょう！ —下敷きになった子どもが死亡する事故も—

衣服や本などを収納するタンス、棚などの家具やテレビ（以下「家具等」といいます。）が子どもの体の上に倒れてきて、子どもが下敷きになるなどの事故が発生しています。これらの事故は、場合によっては、死に至ることもあります。

消費者庁には、平成 22 年 12 月 1 日から平成 29 年 8 月 31 日までに、家具等の転倒による事故情報が医療機関ネットワーク¹を通じて 41 件寄せられており、そのうち約 8 割が 6 歳以下の子どもの事故でした。また、消費者庁が厚生労働省「人口動態調査」を分析したところ、平成 22 年から平成 26 年までの 5 年間で、同様の事故について子どもの死亡事故が 2 件確認されました。海外では経済協力開発機構（OECD）には、アメリカ合衆国、オーストラリア連邦、カナダなどの世界各国から、死亡事故が多く報告されています。

OECD は、平成 29 年 11 月 6 日から 10 日までを「家具やテレビの転倒事故防止に関する国際啓発週間」としています。この取組には、日本も参加して、家具等の転倒事故防止に関する注意喚起を行います。

家具等の設置について、以下の点に御注意の上、今一度、御家庭の状況を見直してみましょう。

- （１）家具やテレビは固定して使用しましょう。
- （２）家具の引き出しには鍵やストッパーなどを付けましょう。
- （３）玩具など子どもの興味をひくものを家具の上に置かないようにしましょう。

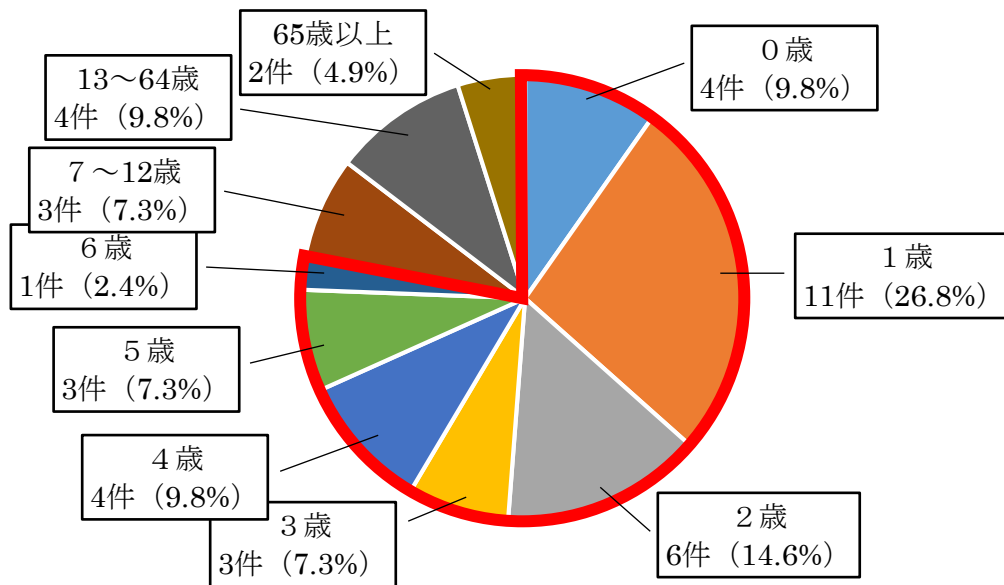
1. 事故情報について

（１）医療機関ネットワークに寄せられた事故情報

消費者庁の医療機関ネットワーク¹には平成 22 年 12 月 1 日から平成 29 年 8 月 31 日までに、家具等の転倒による事故情報が 41 件寄せられています。事故を年齢別にみると 1 歳児の事故が最も多く、2 歳以下の子どもの割合が 51%、6 歳以下の子どもで 78% を占めています（図 1）。

¹「医療機関ネットワーク」は、参画する医療機関（平成 29 年 10 月時点で 23 機関）から事故情報を収集し、事故の再発防止に役立てるための、消費者庁と独立行政法人国民生活センターとの共同事業（平成 22 年 12 月運用開始）です。

図1 家具等の転倒による年齢別事故件数 (N=41)



※小数点第2位以下を四捨五入しています。

<事故事例>

【事例1】タンスの上にあるおもちゃを取ろうとした事例

自宅でタンス（高さ 120cm）の下敷きになり、あお向けで泣いていた。タンスの一番上にあるおもちゃを取ろうとして、引き出しにぶら下がった様子である。

（1歳、事故発生時期：平成23年9月）

【事例2】引き出しを階段状にして乗って遊んでいた事例

タンス（高さ約 150cm）の引き出しを階段状にして乗って遊んでいたところ、タンスとその上にあったテレビが倒れてきて、タンスの下敷きになった。^{すいそんしょう} 腓 損傷 及び肝損傷で約3週間入院した。

（4歳、事故発生時期：平成24年3月）



【事例3】

茶棚を倒し、下敷きになり頭をぶつけた。後頭部の切り傷からじわじわと出血したため、縫合した。

（7歳、事故発生時期：平成26年5月）

【事例4】タンスの引き出しを全部引き出してしまった事例

木製タンス（高さ 100cm）の引き出しを全部出してしまった。引き出しの重みでタンスが傾き倒れてきて、出ていた一番下の引き出しとフローリングの間に、左足が挟まれていた。左足の指に^{さっかしょう} 擦過傷 があった。

（5歳、事故発生時期：平成26年6月）

【事例5】引き出しに片足を掛けて遊んでいた事例

木製のタンス（高さ約120cm）の引き出しを出して、片足を掛けて遊んでいたところ、突然、タンスとその上に置いていたテレビが倒れてきた。テレビと床に頭が挟まれる状態となった。

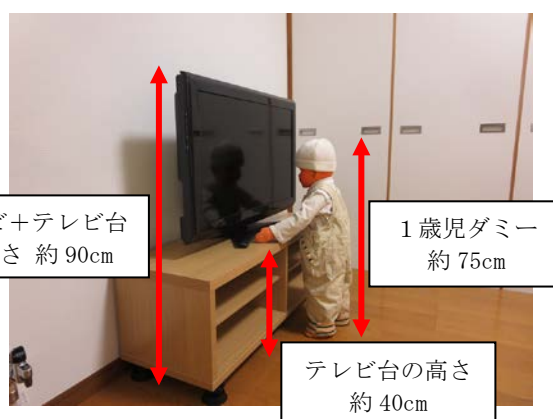
（1歳、事故発生時期：平成28年4月）

【事例6】テレビ台に登って遊んでいた事例

テレビ台に登って遊んでいたところ、テレビ（37インチ）ごと転倒し、腹部にテレビが刺さるような形で床に転落した。肝損傷で9日間入院した。

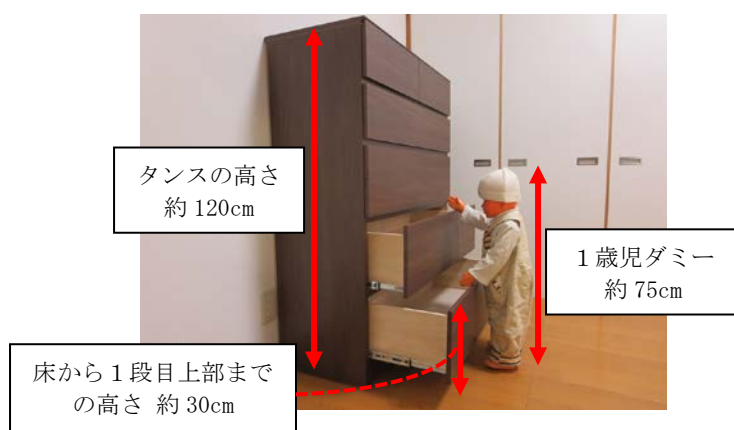
（2歳、事故発生時期：平成29年2月）

子どもが1歳前後でつかまり立ちができるようになると、高さ30～50cm程度のテレビ台の上に設置されたテレビに、容易に手が届くようになります。



※32インチのテレビを使用

画像撮影及び画像提供：独立行政法人国民生活センター



画像撮影及び画像提供：独立行政法人国民生活センター

さらに、上手に立って歩けるようになると、行動範囲が広がり、いろいろなものの引き出しや扉を容易に開けることができるようになります。背の高い家具の場合、家具の引き出しを足場にしてしまうと、子どもの体に覆いかぶさり押し潰すように前方に倒れてくるおそれがあり、危険です。

（2）厚生労働省「人口動態調査」における死亡事故

消費者庁が分析した、厚生労働省「人口動態調査」（平成22年から平成26年までの5年間分）では、家具等の転倒を起因とする子どもの死亡事故が2件（1歳1件、2歳1件）確認されました。

【確認できた死亡事故の状況】

- ・ 大型テレビが頭に落ちた
- ・ 倒れてきたタンスの下敷きになった

（３）海外での発生状況

家具等の転倒による子どもの事故について、ＯＥＣＤ加盟国から、以下の報告がされています。

① アメリカ合衆国

２週間に１人の割合で、転倒してきたテレビや家具の下敷きになり子どもが亡くなっている。



（出典）米国消費者製品安全委員会（ＣＰＳＣ）
<https://twitter.com/USCPSC/status/921705042398334976>

② オーストラリア連邦

過去１５年間で９歳未満の子ども１４人が家具の下敷きになり亡くなっている。

③ カナダ

カナダ保健省は２０１１年６月から２０１７年の８月までに３件の家具転倒による死亡事故の報告を受けている。この３件の被害者はいずれも６歳以下の子どもである。

④ 大韓民国

２０１４年以来、ＫＣＡ（大韓民国消費者局）は家具転倒による子ども（０－１４歳）のけがの報告を１１０件を受けている。

【事例７（海外）】

夕食時に、昼寝をしている子どもを起こしにいったら、ドレッサーの下敷きになっていた。家具を固定するということをしなかった。

（死亡、出典：米国消費者製品安全委員会（ＣＰＳＣ））

【事例８（海外）】

着替えをしていたら子どもの部屋で大きな音がしたので行ってみると、子どもの方にタンスが倒れていた。タンスの前に本棚がなかったら、子どもが下敷きになっていたところだったが、幸いかすり傷で済んだ。

（負傷、出典：米国消費者製品安全委員会（ＣＰＳＣ））

2. 消費者の皆様へ事故防止のためのアドバイス

子どもは、好奇心が旺盛で、大人が予測できない行動をとることがあります。そして、その行動が思わぬ事故につながる場合もあります。私たちは、家具等の転倒による事故を防止するため、以下のような対策を取っておく必要があります。

（１）家具やテレビは固定して使用しましょう。

家具等は、子どもが触るなど、ちょっとした弾みで倒れてしまうことがあります。リビングや寝室などの子どもが過ごす場所の近くには、高さのない家具や奥行きが十分ある家具の利用を検討するとともに、転倒防止グッズなどを利用して、家具等を壁や台に固定しましょう。日本では、地震対策のために家具等に転倒防止グッズがあらかじめ付属しているものもあるほか、様々な転倒防止グッズが販売されています。これらを利用することは地震対策だけでなく、子どもの事故防止の観点からも重要です。



（出典） コスタリカ共和国経済産業省

地震対策用転倒防止グッズの例

（東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」（平成 27 年度版）より）

ストッパー式 マット式	ポール式	L字金具 (スライド式) ベルト式 チェーン式	L字金具 (上向き取付け) プレート式	L字金具 (下向き取付け)
---------------------------	-------------	--	---------------------------------------	--------------------------

＜参考＞

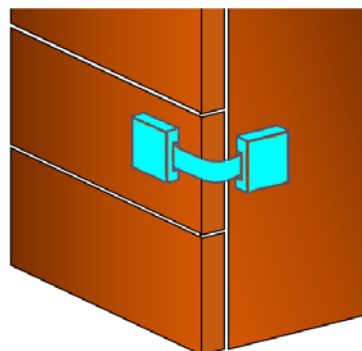
薄型テレビの転倒防止対策の重要性（独立行政法人国民生活センター・平成 24 年 3 月 15 日）

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20120315_1.html

家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック（東京消防庁・平成 27 年度版）
（P 6 ～20）

(2) 家具の引き出しには鍵やストッパーなどを付けましょう。

子どもが、タンスなどの家具の引き出しを階段状にして登って遊んでいて、家具が転倒して下敷きになる事故が起っています。最近では中身が詰まった重い引き出しでも楽に引き出せるようにレールがついたタンスもありますが、そういった引き出しは子どもでも引き出しやすいことを意識する必要があります。子どもは、好奇心が旺盛で、家具の引き出しや扉を開け閉めして遊んだりすることがあり、重い引き出しを複数引き出した場合は家具の安定性が悪くなり、倒れる危険性が高まります。家具の引き出しには、鍵やストッパーなどを付け、子どもが容易に開けられないようにしましょう。



ストッパーの例

(3) 家具の上に、玩具など、子どもの興味をひくものを置かないようにしましょう。

家具の上に子どものお気に入りの玩具やテレビのリモコンなどが置いてあると、子どもはそれを取るために、家具に登ろうとします。家具の上には、子どもの興味を惹くものを置かないようにしましょう。

<参考>

家庭内で起きる乳幼児の思わぬ事故に注意～倒れるもの、高温のものは乳幼児の周りに遠ざけて～（独立行政法人製品評価技術基盤機構・平成 29 年 2 月 23 日）

<http://www.nite.go.jp/data/000084454.pdf>

3. 関係業界団体への要請

家具の転倒事故の防止に関しては、収納家具類の安定性（転倒）の試験方法について JIS S 1201（ISO 7171）がありますが、これは子どもの事故を想定した安全基準、試験方法になっていないため、改めて、子どもの安全性に配慮した安全基準となる、J I S（日本工業規格）の制定に向けた取組が進められているところです。消費者庁では、これらの国内外の動向（事事故例も含む）を基に、家具の転倒事故の防止に取り組むよう、関係業界団体に対して要請を行いました。

主な相談機関

◆小児救急電話相談

休日、夜間の子どもの急な病気への適切な対処の仕方や、受診する病院等について、小児科医師や看護師のアドバイスを受けることができます。



#8000 番をプッシュすると、お住まいの都道府県の相談窓口へ自動転送されます（通話料は相談者負担）。

厚生労働省ウェブサイト：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2006/10/tp1010-3.html>

本資料に関する問合せ先：

消費者庁消費者安全課 岡崎、山川、角川

TEL：03(3507)9200（直通）

FAX：03(3507)9290

URL：<http://www.caa.go.jp/>



「子どもを事故から守る！プロジェクト」

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/

「消費者庁 子どもを事故から守る！公式ツイッター」

https://twitter.com/caa_kodomo



「子ども安全メール from 消費者庁」

<http://www.caa.go.jp/kodomo/mail/index.php>



2017 年「家具やテレビの転倒事故防止」に関する国際啓発キャンペーン

2017 年 11 月

キャンペーンメッセージ

安全性に関する注意喚起

2017 年 11 月 6 日から 10 日まで行われる OECD（OECD 消費者委員会 製品安全作業部会主催）の国際消費者啓発キャンペーンは、テレビ、家具などの転倒の危険性について、消費者に周知し、特に幼児が住んでいる、又は訪ねてくるご家庭において、壁やその他の構造物に家具などを固定するなどして予防策を講ずるように促すことを目指しています。

子ども、特に 1 歳から 3 歳までの幼児が、家具又はテレビの転倒により、毎年のように頭部や内臓の損傷、窒息などの重大な事故の犠牲になっており、蘇生術、頭部や胸部の外傷の緊急治療などの医療措置が必要となっています。また、命に関わることもあります。

保護者、介護者、消費者への安全メッセージ

<危険>

- ・子どもは、家具に手を伸ばしたり、登ったり、ぶら下がったりして冒険しがります。家具やテレビなどは一瞬のうちに転倒しやすく、子どもたちが重傷を負ったり、命に関わったりすることもあります。

<問題>

本棚、背の高いタンスなど、収納家具は、書籍やテレビ、その他の家電などの日用品が多数収納されていると、特に不安定になります。

食器棚、スタンドミラー、チェストなども子どもが登るなどすると不安定になり転倒する可能性があります。毎年子どもが大型のテレビを倒してしまい、下敷きになっています。

<解決方法>

固定器具

- ・転倒しかねない家具やテレビは、特に幼児が住む家庭では、止め具や固定具、安全ストラップなどを使用して壁、又は他の堅固な構造物に固定しましょう。
- ・安定させるための固定器具が家具の供給者により提供されている場合は、取付け方に関する説明にできる限り従いましょう。

- ・古い家具の場合は、お近くのホームセンターなどでバンドや固定器具を購入してください。可能であれば、柱や壁の中の間柱に強力なネジで固定してください。ホームセンターなどの専門家にご自宅の家具固定器具に合った金具について相談してください。

消費者の選択

- ・安定していて転倒しにくい設計の家具やテレビを選びましょう。
- ・収納家具（本棚、キャビネット、テレビ台、ドレッサー）は、土台が幅も奥行きもあり床に直接接しているもの、及び重心が低いものを選択しましょう。
- ・家具やテレビ等家電製品の警告ラベルを確認し、転倒防止方法に関する店頭のお知らせやパンフレットを確認してください。メーカーのウェブサイトを見たり販売店に相談したりするなどして、安全機能を調べてください。
- ・古い家具の場合は、お近くのホームセンターなどで固定器具を購入してください。ホームセンターなどの専門家にご自宅の壁にあった家具固定器具について相談してください。

家庭における安全

- ・引き出しにロック装置を取り付けて、子どもが引き出しを開けて踏み台にして登るのを防ぎましょう。
- ・テレビ台に重いものや、玩具、菓子など、子どもにとって魅力的なものを置かないでください。
- ・テレビは重さや大きさに見合った、低めの安定した家具に置きましょう。可能であれば、テレビは専用スタンドに取り付けてください。本のように重いものは転倒リスクが少なくなるよう、下方の引き出しや棚にしまいましょう。
- ・（保護者や介護者は）子どもを見守り、家具や家電などに登ったりぶら下がったりしないように教えましょう。
- ・引き出しを開くときは一度に一段ずつにしましょう。使用しない引き出しは全て閉じましょう。

家具メーカー、小売業界団体、供給者へのメッセージ

家具やテレビの供給者は、取り扱う製品が安全で^{かし}瑕疵がないことを保証する必要があります。以下のような安全策を取ることで、製品自体に設置安定性がないこと、及び固定されていないことによる重大な外傷や死亡事故の発生を防止しやすくなります。

供給者がすべきこと：

- ・設置安定性のある製品を販売してください。
- ・製品には目的に合った固定器具を取り付けて（又は固定器具を別途添付して）ください。
- ・消費者に対し、転倒の危険やその防止についての情報を提供してください。例えば、取扱／組

立説明書、組立家具の外装などの包装、製品本体上に警告表示をしてください。

- ・ 自社製品に関連する転倒の危険性に対処するシステムをまとめた企業方針を策定し、それを貫くことを表明してください。
- ・ 家具やテレビの消費者安全保護の取組に関する社員研修やマニュアルを作成し、保持しましょう。
- ・ 消費者に対し、家具やテレビを固定する様々な方法を説明する資料を提供しましょう。
- ・ 高さのある家具やテレビを展示する場所の周辺に警告を掲示し、固定器具を使用して壁や建造物に家具やテレビを固定するよう消費者に対し強く勧めましょう。

(参考) 国際啓発キャンペーン 啓発画像

For you... a dresser
FOR THEM... A PLAY STRUCTURE

Anchor it!



ドレッサーも幼児には大きな遊具となります。倒れないように固定しましょう。

カナダ保健省

CANADA.CA/HEALTH

Canada

For **YOU**: a **DRESSER**
For **THEM**: a **PLAY STRUCTURE**

Keep
them **OFF**
to keep
them **SAFE**



ドレッサーも
幼児には大型の遊具となります。

安全のために、幼児が
近寄らないようにしましょう。

CANADA.CA/
HEALTH

カナダ保健省
Canada


/HealthyCdns



固定しましょう！

Anchor It!

Secure Furniture and TVs:
Protect Children

家具とテレビを固定して
子どもを守りましょう。



EVERY 24 MINUTES

a child is injured
from **tipped**
furniture and TVs.

24分に1人の割合で子どもが家具
やテレビの転倒でけがをしています。

The **Anchor It!** campaign is the U.S. Consumer Product Safety Commission's call to action to help ensure parents and caregivers learn about these dangers in the home and take simple, low-cost steps to prevent these tragedies.

「固定しましょう！」キャンペーンは米国消費者製品安全委員会の啓発活動で、保護者や保育者が家庭における危険について学ぶよう、また転倒事故を防ぐために簡単に安価な対策をとるように促すものです。

CHILDREN LIKE TO CLIMB ON FURNITURE

For them, the **home is a playground.** However, many parents are not aware that **unsecured TVs and furniture are hidden hazards** lurking in **every room.**



子どもは家具に上りたがります。子どもにとって家は遊び場です。けれども保護者の多くは、固定されていない家具やテレビが見えない危険であり、どの部屋にも潜んでいることに気付いていません。

www.AnchorIt.gov

(出典) 米国消費者製品安全委員会 (CPSC)



Secure Your TVs and Furniture!

- * Anchor TVs and furniture to prevent them from tipping.
- * Avoid keeping attractive items, such as toys and remotes, in places where kids might be tempted to climb and reach for them.
- * Store heavier items on lower shelves or in lower drawers.
- * Place TVs on a sturdy, low base and push the TV as far back as possible.
- * Recycle unused TVs; and if moving TVs to another location, anchor the TV to the wall.

家具とテレビを固定しましょう！

テレビや家具は転倒しないように固定しましょう。

玩具やリモコンのように取りたくなる物を、上って取りたくなるような場所に置かないようにしましょう。

重い物は下の棚や引き出しにしまいましょう。

テレビはしっかりした低めの台に、できるだけ後方に置きましょう。

使用していないテレビをリサイクル用に別の場所に移動する際は、壁に固定しましょう。

What Needs to Be Secured?



Dressers

チェスト



TVs

テレビ



Large Furniture

大型家具



For More Information:

もっと詳しく：

www.AnchorIt.gov

固定が必要なものにはどのようなものがありますか？

(出典) 米国消費者製品安全委員会 (CPSC)

ACCC 家具の転倒防止啓発資料 啓発注意喚起のためのポストカード

Tragically, up to two children die every year from furniture or TVs toppling over.

痛ましいことに、毎年1～2名の子どもが家具やテレビの転倒により亡くなっています。

Don't wait until
it's too late

手遅れにならないようにしましょう

家具を安全に設置しましょう！

Secure furniture safely!

(出典) オーストラリア競争・消費者委員会 (ACCC)

australian
consumer law

Toppling furniture and TVs cause tragic deaths and hundreds of serious injuries each year.

毎年、家具やテレビの転倒によって悲惨な死亡事故や数百件の重症事故が起こっています。

Don't wait until it's too late. Take steps to prevent furniture from toppling over by installing an anchor device.

手遅れにならないようにしましょう。固定器具を使って家具が転倒しないように対策を講じましょう。

Toppling televisions seriously injure small children. Secure your TV to the wall or cabinet with a suitable anchor so it cannot topple over and crush a child.

Anchors are easy to install. If they are supplied with furniture, you should use them. They can also be purchased from your local hardware store or furniture supplier.

Watch our safety video at **productsafety.gov.au/topplingfurniture** to find out how you can keep your children safe.

テレビが転倒すると子どもは大けがをします。適切な器具でテレビを壁又はキャビネットに固定して、テレビが子どもの上に倒れこんで押し潰すようなことが起こらないようにしましょう。

固定器具の取付けは簡単です。家具の付属品として付いているものがあれば使用してください。また、固定器具はお近くの金具取扱店や家具店でも購入可能です。

どのようにお子さんの安全を守るかについて
こちらの安全ビデオを御覧ください。

australian
consumer law

(出典) オーストラリア競争・消費者委員会 (ACCC)